

# いわき産 農林水産 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和6年8月号

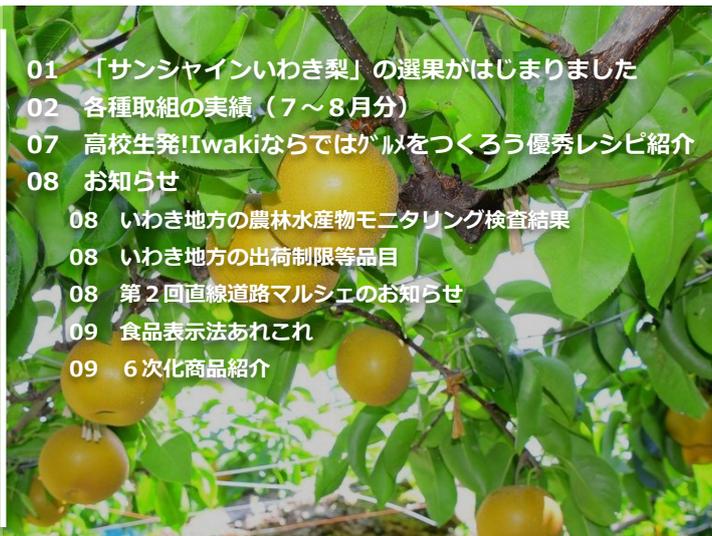
vol.234

発行日

2024/8/29

写真について  
詳しくは  
p.10を  
チェック!

- 01 「サンシャインいわき梨」の選果がはじまりました
- 02 各種取組の実績（7～8月分）
- 07 高校生発!Iwakiならではのグルメをつくらう優秀レシピ紹介
- 08 お知らせ
- 08 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
- 08 いわき地方の出荷制限等品目
- 08 第2回直線道路マルシェのお知らせ
- 09 食品表示法あれこれ
- 09 6次化商品紹介



## 特集

## 「サンシャインいわき梨」の選果が始まりました

8月9日（金）にJA福島さくらいわき梨選果場操業開始式が執り行われ、今年も「サンシャインいわき梨」の出荷が始まりました。品種は「幸水」からスタートし「豊水」「あきづき」「新高」の順で10月中旬頃まで出荷が続きます。

今年、春先から夏にかけて温暖な気候となり、梨の生育が平年に比べて9日程度早くなりました。おいしい梨を作るために、生産者がひとつひとつ手作業で摘果を行い、病気や害虫を防ぐ努力を続けてきた結果、糖度が高くとてもジューシーな梨が出来上がりました。いわきは県内で最も早く梨が出荷される産地で、「サンシャインいわき梨」のブランドで市場に出荷されています。

いわきの秋の味覚「サンシャインいわき梨」を是非ご堪能ください。  
(農業振興普及部)



▲ 当所所長あいさつ

## いわき梨選果場ってこんなところ！

市内で生産された梨を集出荷する、約4,300㎡の面積を有する施設です。この施設の最大の特徴は「透過式光センサー」により、「糖度」「熟度」「色」「形状」の測定だけでなく、障害果等を確認することができます。これにより、「サンシャインいわき梨」は、品質の良い梨を消費者に供給することが可能となり、梨産地としての信頼性を高めています。



▲ 選果の様子



▲ 選果された梨

## 特定家畜伝染病対策いわき地方連絡会議を開催

7月11日(木)

県いわき合同庁舎において、特定家畜伝染病対策いわき地方連絡会議を開催し、20の関係機関・団体が出席しました。本会議では、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病発生時に、関係機関・団体が協力して迅速に防疫措置が行えるよう対応方法等について確認しました。

会議では、中央家畜保健衛生所より特定家畜伝染病の防疫対策について、いわき地方振興局県民部県民生活課より死亡した野鳥や野生イノシシに対する対応方法について、加えて当所農業振興普及部より防疫措置体制及び初動体制について説明を行い、情報の共有と、役割等の確認を行いました。今後は、有事の際の実践的な対応に向け、班別説明会や防疫演習等を実施し、万全な体制整備に努めてまいります。



▲ 会議の様子

(農業振興普及部)

## ふくしま食育実践サポーターを派遣 7月16日(火)、8月6日(火)

県では、郷土食の伝承や地産地消、食生活の改善等の食育活動全般を実践する個人や団体を「ふくしま食育実践サポーター」として登録し、学校等の要請に応じて派遣しています。今回は2つの活動を紹介いたします。

7月16日(火)に、平第一幼稚園(学校法人志賀学園)の園児51名が、ブルーベリーファームいわき(合同会社七浜果樹)を訪れました。代表の渡邊充彦氏から、ブルーベリーの生長過程や収穫方法について説明を受けた後、収穫体験や、ブルーベリーシロップのかき氷を味わうなど、ブルーベリーについて楽しく学ぶことができました。



▲ 平第一幼稚園の園児ら

8月6日(火)には、学校法人まこと学園の学童クラブに、市内のラーメン店「やま鳶」の皆さんを派遣しました。参加した児童91名は、ラーメン屋さんのお仕事体験をテーマに、ミニトマトやじゃがいもなどの、自分たちが育てた野菜を盛り付けてオリジナルのラーメンを作ることで、地産地消・自産自消の意識付けや、食に携わる人たちへの感謝の気持ちを育むことができました。



▲ オリジナルのラーメンづくり

本制度は、学校の調理実習や、各種講座の講師などにも幅広く活用いただけます。食育に関する講師をお探しの際は、当所企画部へお問い合わせください。

(企画部)

いわき長ネギ選果調製施設新築工事安全祈願祭

7月17日(水)

JA福島さくらによる、いわき長ネギ選果調製施設の新築工事安全祈願祭が、平下片寄の建設予定地で行われました。式にはJA、工事関係者、行政機関等約40名が出席しました。

本施設は、収穫したねぎをそのまま持ち込み、皮むき、結束、箱詰め、出荷まで行う施設です。長ネギ栽培にかかる労働力の大半を占める出荷調製を、選果場が担うことで、生産者は栽培管理に専念でき、面積拡大、新規栽培者の増加が期待されます。施設の稼働は令和7年度からの予定です。

当所では、選果場を有効活用したねぎの生産振興を支援してまいります。

(農業振興普及部)



▲ 志賀組組合長による鍬入れ



▲ 当所所長あいさつ

いわきリンドウ生産部会出荷前目揃え会を開催

7月19日(金)

いわきリンドウ生産部会の出荷前目揃え会が、JA福島さくら小川宮農経済センターで開催されました。

目揃え会では、JAから集出荷の場所や時間の変更について説明があった後、当所から、出荷時の注意点や収穫後の栽培管理のほか、出荷箱の詰め方や切り前※などについて説明しました。

部会員は、各々が持ち寄ったリンドウを見ながら、切り前や下葉のかき方等について、積極的に意見交換をしていました。現在、いわき市では4戸の農家が当部会に所属し、リンドウを栽培しています。当所では、引き続きリンドウ生産部会の活動を支援してまいります。



▲ 目揃え会の様子

(農業振興普及部)

※切り前とは：収穫する時の花の咲き具合のこと

Topic

県立磐城農業高等学校でドローン講習

株式会社マルトは青少年育成事業の一環で、県立磐城農業高等学校及び株式会社相馬屋と連携し、福島県オリジナル水稻品種「福、笑い」の種まきから収穫した米の販売までを行っています。この事業により7月29日(月)、同校でドローン講習が行われました。

講習はシガ環境メンテナンス株式会社が担当し、生徒にドローンについて説明した後、「福、笑い」「コシヒカリ」の田んぼにドローンで殺虫剤を散布しました。生徒達は、田んぼ1枚への散布が数分で終わる散布の速さに驚いた様子でした。

(企画部)



▲ 飛び立つドローン

## 第42回福島県治山林道研究発表会が開催

7月26日(金)

県林業研究センターにおいて標記発表会が開催されました。この発表会は、林道・治山・保安林・林地開発調整業務に携わる県職員が、日頃の業務で取り組んだ調査・研究内容を発表したり、新技術・新工法等を紹介することで技術の向上を図り、森林土木技術の発展に寄与することを目的として、毎年開催しています。今年度は、森林土木ICT、施設長寿命化、新工法紹介など8つの発表がありました。



▲ 発表の様子

当所からは、「風力発電事業の解除予定保安林における段階確認について」と題して発表しました。県内の先行事例としてどのような手続きを行っているのか、また、どんな課題があり、どのような解決策が考えられるか等を発表し、奨励賞を受賞しました。

今後も調査や研究、課題解決に取り組み、技術の研鑽に努めてまいります。(森林林業部)

## 福島県漁業士認定証交付式及び漁業士会総会

7月26日(金)

漁業士とは、地域漁村を引っ張る『浜のリーダー』たる漁業者であり、県では、優れた漁業後継者(満40歳未満)を「青年漁業士」、優れた漁業経営を行い、漁村青少年の育成に指導的役割を果たす漁業者(満60歳未満)を「指導漁業士」として県知事が認定しています。

県いわき合同庁舎南分庁舎において、福島県漁業士認定証書交付式が開催され、令和6年度は、新たに1名の指導漁業士(いわき市漁業協同組合 大平高洋さん)が認定されました。

認定証書交付式に続いて、福島県漁業士会総会が開催され、県内の漁業士約20名が集まりました。総会では令和5年度の活動実績や、令和6年度の活動計画、役員改選などの審議が行われました。役員改選の結果、新会長に相馬双葉漁業協同組合所属の平 正蔵さんが就任しました。

漁業士会での漁業技術の指導や先進地視察等の活動を通じて、それぞれの地域の課題や今後の復興の取組について情報を共有し、従来にも増して「漁業後継者の確保・育成」や「活力ある漁村社会の形成」に取り組まれることが期待されます。(水産事務所)



▲ 水産課長による漁業士認定証書交付



▲ 漁業士会総会の様子

## 第2回上桶売地区交流体験が開催

7月28日(日)

いわき市川前町上桶売地区において、がんばっぺおけうりの主催により第2回上桶売地区交流体験が開催されました。

この交流体験は、上桶売地区の魅力ある地域資源を活用し、他地域の方々との交流を通じた地域農業の維持・活性化と、関係人口の創出による将来の移住促進等を目的とし、全4回の開催を予定しています。

今回は、市内在住の7組15名の方々が参加され、夏野菜収穫とブルーベリー狩り体験のほか、地元料理が提供されました。参加者からは、「イベントが盛りだくさんで楽しかった」「また来年も開催してほしい」等の感想をいただきました。

今回頂いたご意見・ご感想が、今後の交流体験に活用されるよう、当所では、引き続き中山間地域の農業活性・振興に向けて支援してまいります。



▲ 収穫体験の様子

## 農林水産業振興計画いわき地方意見交換会を実施

7月31日(水)

県では、令和4年度からスタートした「福島県農林水産業振興計画」を周知するとともに、各地方の課題等を把握して次年度の施策に反映させるため、県内7地方で農林業者や関係団体との意見交換会を開催しています。

当所では、県いわき合同庁舎においていわき地方意見交換会を開催しました。はじめに、県から農林水産業振興計画及びいわき地方の令和5年度実績・令和6年度の取組概要について説明した後、いわき地方の農林業の課題や必要な取組等について、意見交換がなされました。出席者からは、それぞれの団体の取組や県への期待、担い手の確保・育成、ブランド力の向上等について、様々なご意見・ご提案が出されました。いただいたご意見等を今後の農林業振興に活かし、本計画の基本目標である「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を目指し、各種施策に取り組んでまいります。



▲ 意見交換会の様子

(企画部)

## 就農インターンシップ研修を実施

7月31日(水)

高校生に職業として農業への理解と関心を深めてもらい、いわき地方の将来を担う新規就農者を確保することを目的として、就農インターンシップ研修を実施しました。

今回は県立磐城農業高等学校の8名の生徒が、イチゴやトマト、花きを生産する農業法人のもとで、それぞれトマトの誘引やイチゴの仮植、花きの鉢上げ等の作業に1日取り組みました。研修後は「楽しかった」「勉強になった」などの声が聞かれたことから、生徒の皆さんは農作業に取り組む喜びを感じていたようです。

当所では、引き続き教育機関や農業法人等と連携して、若い世代に農業の魅力を伝える取組を行ってまいります。



▲ 研修の様子

(農業振興普及部)

もり  
森林づくりタウンミーティングを開催

8月5日(月)

県では、森林環境の保全や豊かな森林を全ての県民で守り育て未来へ引き継いでいくため、平成18年度から福島県森林環境税を導入しています。

県民の皆さまに、福島県森林環境税を活用したこれまでの取組成果を報告し、ご意見を伺う「森林(もり)づくりタウンミーティング(いわき方部)」を県いわき合同庁舎において開催しました。

県森林計画課から「森林環境基金制度のあらまし」を説明し、当所・いわき市から「森林環境基金を活用した取組の成果」を報告したあと、参加した31名の市民や森林林業関係者との意見交換を行いました。参加者からは、森林環境税の使途に関する提案や森林整備の進め方等に関する多くの意見が出されました。また、事業の継続に対する要望があげられました。

皆さまからの貴重なご意見を参考に、福島県森林環境税のあり方について検討を進めてまいります。

(森林林業部)



▲ 開催状況



▲ 当所職員による説明

第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催

8月10日(土)

ハワイアンズスタジアムいわきで開催された、いわきFC対愛媛FC「福島県プレゼンツ『常磐もの』応援スペシャルマッチ」に出展し、第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました。

今回は当所SNSをフォローしてくれた方へ、いわきオリーブ茶をプレゼントするSNSフォローキャンペーン、認証GAPに関するwebアンケートに回答いただいた方から抽選で梨をプレゼントするいわき産梨プレゼントキャンペーンを行い、来場者には梨の6次化商品「飲むフルーツ梨酢」の試飲を提供しました。

会場はいわきFCと愛媛FCの両サポーターで賑わっており、たくさんの方へいわき産農産物、6次化商品の魅力を伝えることができました。

(企画部)



▲ 会場の様子



▲ 応援に来たフラキビタン

高校生発!

Iwakiならではのグルメをつくろう

5

優秀レシピ紹介 vol.

昨年度、地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でいわきならではのグルメを開発した「高校生発! Iwaki ならではのグルメをつくろう」。

今回は応募のあったレシピの中から、all about bakery のおすすめレシピをご紹介します! 当所ホームページにてレシピ公開中 ⇒⇒⇒



きのこ部門  
おすすめ  
レシピ  
all about  
bakery

## Eringi & Vegetable Burger




鈴木 望来さん  
福島県立磐城農業高等学校 3年  
(応募時)

調理時間: 50分  
食材費(2人分相当): 800円

| 材料                | 作り方   |
|-------------------|---|
| 長ネギ ..... 1/2 本   | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 長ネギをみじん切りにし、ひき肉と合わせる。</li> <li>② ①に卵、牛乳、パン粉、塩、こしょうを加え、混ぜ合わせる。</li> <li>③ 空気を抜きながら丸く成形し、熱したフライパンで火が通るまで焼く。</li> <li>④ みそ、みりん、中濃ソース、ケチャップを混ぜ合わせたものを②に加え、煮詰める。</li> <li>⑤ エリンギは薄切りにし、熱したフライパンで焼いておく。</li> <li>⑥ トマトは輪切りにし、パンは具材を挟みやすいように横半分切っておく。</li> <li>⑦ 下にくるパンにフリルレタス、トマト、ハンバーグ、エリンギの順にのせ、上にくるパンで挟んで完成。</li> </ol> |
| ひき肉 ..... 150g    |   |
| 卵 ..... 1個        |   |
| 牛乳 ..... 大さじ1     |   |
| パン粉 ..... 1/2 カップ |   |
| 塩 ..... 少々        |   |
| こしょう ..... 少々     |   |
| みそ ..... 大さじ1     |   |
| みりん ..... 大さじ1    |   |
| 中濃ソース ..... 大さじ2  |   |
| ケチャップ ..... 大さじ1  |   |
| エリンギ ..... 1本     |   |
| トマト ..... 1/2 個   |   |
| パン(丸型) ..... 2個   |   |
| フリルレタス ..... 4枚   |   |

作品の PR ポイント

いわき市産のものをたくさん使用し、いわき市にはこんなに新鮮でおいしいものがあると知ってほしいです。ふわふわのパンにエリンギの食感とトマトの甘みを楽しむことができます。ソースには隠し味にみそを入れており、みそ風のデミグラスソースになっています。みそのコクが、ねぎの甘みが加わったハンバーグとマッチしていておいしいです。

【レシピを参考に作ってみた!】

いわき産エリンギのコリコリ食感が楽しい、ぜひお店で食べてみたい一品。パーティに絡ませた濃厚な味噌ソースと、トマトの爽やかな酸味がよく合います。今回は下パンズに粒マスタードを塗って、キリッとした仕上がりにしてみました。某ハンバーガーチェーン店M勤務の経験が生きました(笑) (K・K)



## お知らせ

### いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和6年7月分)

#### 農林畜産物の検査結果

令和6年7月の農林畜産物モニタリングでは、3品目5検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。内訳は(表1)のとおりです。(企画部)

(表1) 品目と検体数

ピーマン1、牛肉3、原乳1

#### 海産魚介類の検査結果

令和6年7月の水産物モニタリング検査では、82検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

### いわき地方の出荷制限等品目

令和6年7月末現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。きのこのシーズンとなりますが、野生きのこについては出荷に加え摂取も制限されています。自家用の食材とすることもお控えください。(企画部)

(表2) 農林畜水産物の出荷制限等品目(令和6年7月末現在)

| 制限、自粛 | 区分    | 品目   |
|-------|-------|--|
| 出荷制限  | 山菜    | たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る) <sup>※1</sup> 、こしあぶら |
|       | きのこ   | 原木なめこ(露地)、野生きのこ <sup>※2</sup>                              |
|       | 海産魚介類 | クロソイ   |
| 出荷自粛  | 山菜    | さんしょう(野生のものに限る)  |

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限ります。(市内該当生産者20名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

### 第2回直線道路マルシェのお知らせ

いわき農業青年クラブ連絡協議会主催の「直線道路マルシェ」を9月7日(土)に開催します。今年度2回目の開催で、梨やブルーベリー、夏野菜、キクラゲなどを販売します。

いわき市産の梨は日照時間が長く水はけの良い園地で栽培されているため、甘みのあるみずみずしい味が好評です。青年クラブの会員には梨農家が多いので、この機会にそれぞれの園地で栽培した梨を食べ比べてください。(農業振興普及部)

開催日時：9月7日(土) 9:00~11:00  
 開催場所：いわき市小川町下小川御堂内 サティ農園  
 お問い合わせ先：090-5597-0787(根本)  
 注意事項：雨天など、天候によっては中止とします。  
 商品がなくなり次第、終了となります。



開催日時  
**9月7日(土)**  
**9:00~11:00**

場所 **いわき市小川町下小川御堂内 サティ農園**  
 北緯：37.1110931, 東経：140.866910

主催 **いわき農業青年クラブ連絡協議会**  
 お問い合わせ **090-5597-0787(根本)**

注意事項  
 ・雨天など、天候によっては中止とします。  
 ・商品がなくなり次第、終了とします。

梨、ブルーベリー、夏野菜、キクラゲなどが出品予定です。



## 食品表示法あれこれ ④表示の方法に関する留意点

容器包装の表示は、表示の内容だけではなく、文字サイズ等の定めにも留意しながら作成する必要があります。以下に主な留意点を挙げますので、確認してください

- ・表示に用いる文字及び枠の色は、背景と対照的な色とする。
- ・邦文（漢字、平仮名、片仮名又はアラビア数字）を用い、一般に購入・使用する者が読みやすく理解しやすい内容とする。※1、2
- ・表示の文字サイズは、日本産業規格で規定する8ポイント以上の大きさの活字とする。ただし、表示可能面積がおおむね150cm<sup>2</sup>以下のものは、5.5ポイント以上の大きさの活字を使用してよい。
- ・表示可能面積がおおむね30cm<sup>2</sup>以下であるものは、「名称」「アレルギーを含む旨」「保存方法」「賞味期限又は消費期限」「食品関連事業者の氏名及び住所」以外の事項を省略することができる。※3

- ※1 ローマ字による表示が許容される例：法人登記どおりの製造者表示、添加物欄の元素記号、単位の表示、製造者固有記号、その他ローマ字表記が一般的で邦文では分かりづらい場合
- ※2 輸入品に表示されている期限表示については、輸入者が本邦の表示方法に沿った方法で表示し直す必要があります。（年→月→日 の順で表示する、AUG,SEPなどの英文略字を用いない）
- ※3 下記の例外規定があるため注意してください。  
 原材料名：特定保健用食品、機能性表示食品の場合は省略できない。  
 添加物：「L-フェニルアラニン化合物を含む旨」の表示は省略できない。  
 内容量：特定保健用食品、機能性表示食品の場合および、計量法の特定商品に該当する場合は省略できない。

### 表示可能面積とは？

包装の表面積から、表示事項を表示しても判読できない部分（例えば、包装がひねられているなど凹凸が激しい箇所や、包装の重なり部分等）を除いた面積を指します。

包装には様々な形状があるため、表示の文字サイズに微妙な判断を要する場合は当所へご相談ください。

### 文字サイズのサンプル

8ポイント あいうえお

5.5ポイント あいうえお

（企画部）

## こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します

福島県は会津を中心にそばの産地として有名ですが、小麦を育て、うどんを作っているところもあります！勿来町のエヴリート株式会社では自社生産の小麦100%を使用したうどん「勿来壽饅饨（なこそことぶきうどん）」を販売しています。

エヴリートでは小麦の生産に加え、精麦・製粉も手がけています。そのため、小麦本来の豊かな風味と香りを楽しめることが特徴です。また、製麺を担うのは四倉町の鈴木製麺株式会社。もちっとした食感の平打ちの細麺は、つゆとの絡みもバッチリです。夏の暑い時期には冷やしがおススメ。めんつゆにオリーブオイル、ニンニクを加え、トマトをトッピングすれば夏バテ対策にピッタリですね。

勿来壽饅饨という名前は長寿を願うと共に、勿来産小麦へのこだわりを意識して名付けられました。贈答用のセットも販売しているため、お土産等でも是非ご利用ください。

うどん  
● 勿来壽饅饨【200g】 300円(税込)  
※取扱店舗によって値段が異なる場合があります

取扱店舗  
直売所 えぶりーと  
ファーマーズマーケット いがつべ

お弁当も  
あります！

小麦の生産・精麦・製粉まで  
エヴリートが行っています！

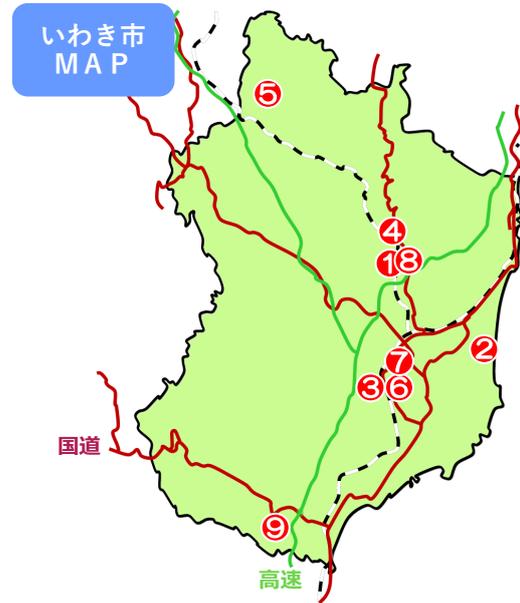
直売所 えぶりーと  
大森 美穂さん

もちっと  
食感！

販売元・お問い合わせ  
エヴリート株式会社  
〒いわき市勿来町白米穂町49番地 ☎0246-65-4860

今月号に掲載した場所はこちら！

- ① JA福島さくらいわき梨選果場 (p.1)  
小川町西小川字下蕪田16
- ② ブルーベリーファームいわき (p.2)  
平藤間中谷地17-1
- ③ 学校法人まこと学園 (p.2)  
常磐湯本町宝海133-7
- ④ JA福島さくら小川宮農経済センター (p.3)  
小川町上小川字伊吾内10
- ⑤ 上桶売地区 (p.5)  
川前町上桶売
- ⑥ ハワイアンズスタジアムいわき (p.6)  
常磐水野谷町竜ヶ沢308
- ⑦ all about bakery (p.7)  
草木台1丁目10-16
- ⑧ サディ農園 (p.8)  
小川町下小川御堂内
- ⑨ エヴリート株式会社 (p.9)  
勿来町白米穂町49



【いわきなし&ねぎフォトコンテスト開催中！】※表紙の写真について

▼ 詳細はこちら

開催中のいわきなし&ねぎフォトコンテストに応募されたなしの作品を掲載させていただきました。

たくさん実っていて、とっても美味しそう！

フォトコンテストはInstagram又はFacebook、メールで応募できるので、多くの方の応募をお待ちしています。  
(企画部)



あとがき

サンシャインいわきなしのシーズン到来！なしと一口に言っても色々な品種があるんです。時期によって品種が異なるので、食べ比べてお気に入りの品種を見つけてみてはいかがでしょうか。

今年度当所が部対抗で行っているバケツ稲の栽培ですが（YoutubeやSNS見てね）どんどん出穂しています。日に日に生長している姿を見るのは嬉しいですね。最近虫が付き始めているのが心配ですが、無事に収穫できるように頑張ります！  
(担当Y・W)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース